

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	民間主導による新たな生活防衛団設立のための実証実験
対象地域	秋田県仙北市
活動概要	<p>少子高齢化・地域経済の縮小・集落の消滅など、地域不安が拡大する中で、安心して暮らせる地域の仕組みづくりを提案する。</p> <p>① 一人暮らし老人宅の除雪など、一部ボランティアの活動はあるものの、地域で取り組む体制にない。また地域の消防団のあり方が現状に合っていない。</p> <p>② 高齢過疎地である仙北市において、socialcapital(地縁・血縁といった社会資源)が極めて希薄になり、限定された地域社会において相互扶助も限界にきている。</p> <p>③ 高齢者の認知症問題や独居老人の引きこもりなども増大傾向にあり、早期に対策を求められている。</p> <p>④ 市の行財政の逼迫により、山間集落への対策が打てず、消滅する集落も発生している。上記の地域課題解決のために、地域の人々の知恵と力を引き出しあい、協力しあう仕組みを構築することを目指します。</p>
今年度の主な取組	<p>地域のあきらめ感を払拭するためには、学生の若い感性と視点で地域の魅力や課題を浮き彫りにしてもらうことが、より有効であると考えます。そこで提携大学の学生を仙北市に招聘して、民家(特に高齢者住宅)や農家民宿、温泉施設などに宿泊しての体験調査を実施してもらいます。具体的には、農業体験、ケアサービス体験、地域の祭りや芸能などを体験してもらい、地域住民の声の聞き取りと同時に地域の課題と改善の提案をまとめてもらいます。</p> <p>8月 協議会を設置。メンバーは秋田県・仙北市・NPO法人アート夢ネットあきた・NPO法人きたうら・NPO法人福祉ハートネット・農家民宿・温泉施設・社会福祉協議会・医療関係者・建設業協会・地域住民代表・タクシー協会・介護事業所・老人クラブ・九十九塾JR・秋田内陸縦貫鉄道・バス会社・秋田大学。各団体の代表者による第1回全体会議。生活防衛団設立に向けて、方向性と課題を提起してもらう。</p> <p>9月～2月 ・民間主導による新たな移動手段の実験(タクシー・バス・鉄道の連携) ・独居老人の寂しさや不安を少しでも解消する実験(近所付き合いが希薄) ・温泉と医療の融合実験(新たな老人医療サービス) ・新たな生活防衛団による除雪やパトロールの実験(建設業界と地域がタイアップ) ・各実験を踏まえて、方向性を提案したフォーラムを開催 協議会メンバーと地域住民(仙北市全戸に開催を告知)、さらに学識経験者を招き、生活防衛団設立に向けた方向性を具体的に提案する。</p> <p>3月 ・成果の取りまとめ/東北地方整備局へモデル事業結果を報告。</p>

活動結果	<p>医療機関、福祉機関、大学、温泉施設、伝統文化施設、地域文化人、農家など様々な専門分野で活躍する組織、個人との連携を果たすことができ、その結果、仙北市生活防衛協議会が誕生した。</p> <p>同組織が高齢者の持つ様々な問題の解決方法、次年度に続く継続可能な組織のあり方を検討し、首都圏よりの学生を招へいし、独居高齢者の訪問活動、除雪作業、医療機関への移動、温泉施設への移動、入浴によるコミュニケーションを体験させ、問題解決の方法の提起を行うことができた。</p> <p>この事業の成果は、この活動を通じて散在していた機能が一つの目的で共通の活動として連携でき、また地域の問題解決に向けた現実的な一歩が踏み出せたことである。単なるアイデアであった「生活防衛団」が、設立に向けた具体的な打ち合わせの段階に入ったこと、その有力な地域の構成員、首都圏の若者が手を携えて活動できる環境が出来上がったことである。</p>
当初予想していなかった効果	<p>他地域からの学生を招へいし活動に参画させるアイデアは、彼らのバックグラウンドを知りえない状況においては不安な要素があった。しかし、「指示待ち世代」「自己中心的」「コミュニケーション能力がない」などの一般的な若者像は一部の特性を誇張した情報であることが身をもって理解でき、地域で受け入れたスタッフの学生に対する意識が変わった。</p> <p>また、都市部に生活する学生にとり、農村部の伝統文化や食生活は新たな発見として受け入れられた。若者は若者の文化にしか興味を示さないという情報は、誤った事実であると認識することができた。また、そのような現象が地域の伝統文化に対する自信となり、地域住民にとっても新鮮な驚きをもつことができた。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真・左】独居高齢者宅のボランティアによる除雪作業状況 【写真・右】フォーラム(パネルディスカッション)の実施状況</p>
応募団体名	特定非営利活動法人「アート夢ネットあきた」
リンク	-
部局/担当者名	同法人 理事長 千葉文士
連絡先	TEL:0187-44-3970 又は 0187-55-5241 E-mailアドレス: info@alk-sakura.co.jp
推薦市町村名	仙北市